国際ロータリー第2840地区　RI加盟認証15,000番目

桐生西ロータリークラブ週報

Rotary

2016－17年度RIテーマ　ジョンF. ジャームRI会長

ROTARY SERVING HUMANITY 人類に奉仕するロータリー

例　会　日　時　　毎週金曜日　　12：30 ～ 13：30
例会場・事務所　　桐生市堤町3－5－23　桐生プリオパレス
Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp　　TEL 0277-22-9155
URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi　FAX 0277-44-2777
会長　前原榮一　　幹事　東郷　学　　クラブ会報・雑誌担当　新木明夫
広報活動委員長　山形　剛　　委員　鳥嶋隆一、髙森 勉（歴史編纂・IT・CICO担当）、池末晋介

Ｎｏ．２０７０　　　　２０１７年４月２日発行

第２１９５例会（2017・3・24）報告（Ｂ方式）

食事（12：00 ～）
１．点　　鐘
２．ロータリーソング
３．来訪者紹介
４．米山奨学金贈呈
５．会長報告
６．幹事報告
７．委員会報告
８．卓　　話
　NPO法人 小島昭研究所　理事長　小島昭様
９．点　　鐘
１０．ロータリーソング

◆ビジター

NPO法人 小島昭研究所　　理事長　　小島　昭　様
米山奨学生　　　　ティー・ラタナーさん
　〃　　　　スレーントーン・プウビライさん

◆米山奨学金贈呈

ティー・ラタナーさん（右）
スレーントーン・プウビライさん（中央）

3月分の米山奨学金を贈呈しました。

◆会長報告　　　　前原会長

１．私の任期も残り3ヶ月余りとなりました。通常例会もあと数回しかありません。そこで気掛かりなのが拠金の目標額達成です。特にロータリー財団はレートの関係や目標額のアップで苦戦しております。当クラブは地区補助金やグローバル補助金事業で地区からたくさん支援を頂いておりますので、各々目標額をクリアして頂きます様、宜しくお願い致します。

２．先週の理事会報告を致します。先ず、4月28日(金)の例会が2200回記念例会ですので、夜間例会にすると共に記念講話にRI第2800地区PGの藤川享胤氏をお迎え致します。桐生5ＲＣ始め地区内クラブにもご参会頂くようご案内致します。会員皆様にも近日中にご案内致しますのでご出席の程お願い致します。
　次に、Ｒ財団100周年記念キャンペーン活動協力金と日本ロータリー100周年委員会運営協力金拠出の依頼がガバナー事務所からありました。財団100周年の資金は皆様に配布致しました車両用マグネットシートやＦＭぐんまのコマーシャル等に充てられます。２件とも本部費より拠出する事になりました。
　また、NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員会が多地区合同奉仕活動である事をクラブとして承認する事に致しました。これは青少年交換事業の拡充と地区業務の軽減等に寄与する為です。

３．明日土曜日午後４時半から太田ＲＣ創立60周年記念式典がティアラグリーンパレスで開催されます。私と坪井副会長で出席して参ります。

４．明後日の日曜日、伊勢崎プリオパレスで地区補助金予備審査会が10時から午後4時迄の予定で開催され、下井田補助金委員長が出席されます。ご苦労様です。

５．2017年決議審議会提出議案について地区から提出する決議案を地区大会で諮る事になり、事前確認が届いております。本日発行のクラブ会報4頁に紹介してありますので、ご確認下さい。

◆幹事報告　　　　下井田SAA

◇次例会は4月2日(日)の春の家族会日帰りバス旅行です。参加者へは当日の詳細を後日FAXでお知らせ致します。
◇4～6月のプログラム予定表を配布致しました。
◇RA年次大会のお礼と記念写真をメールで頂きました。
◇下記のものが届いております。
・台湾でのロータリー国際囲碁大会のご案内
・群馬県肢体不自由児協会より作品集
・群馬県自閉症協会より会報
◇例会変更のお知らせ
　桐生赤城ＲＣ　4/4、4/18
◇クラブ会報が到着しています
　桐生赤城ＲＣ　3/14　　　桐生中央ＲＣ　3/5、3/9

◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告　　　　早川出席担当

総数59名（免除者11名の内10名出席の為1名を除く）
出席率対象者58名、　　出席率対象者出席人数39名
欠席者19名（内前メイク9名）　　出席率82.76％
前々例会修正出席率89.47％　　（最終欠席者6名）

□拠金委員会

◇ニコニコＢＯＸ　　　　山同拠金委員

小島昭先生、卓話よろしくお願い致します
　前原君、花房君、浦野さん、近藤君、河内君、栗原(幸)君、阿左美君、中野君、乾君
小島先生、卓話楽しみにしています。私は高専OBです　髙森君
民主党とマスコミ、他にやる事無いのですかね！野村君
毎年花粉人口増えているようです。予防が肝心です　藤本さん

WBC侍ジャパン残念でした。4年後に期待しましょう！　野田君

◇ロータリー財団　　七五三木Ｒ財団担当

小島昭先生、卓話ありがとうございます
前原君、井本さん、近藤君、河内君、中野君、江原君、髙森君

結婚祝お花ありがとうございます　栗原(幸)君

年度末てんてこまいです　浦野さん

「金が無い」息子の声だが電話切る　野村君

春らしくなって参りました　藤本さん

◇米山ＢＯＸ　　河内米山奨学担当

小島昭先生、卓話楽しみにしています
野村君、河内君、藤本さん、中野君、髙森君

結婚祝お花ありがとうございます　栗原(幸)君

春冷えであと１枚ぬげません　浦野さん

◆食事メニュー(ビュッフェ方式)　**１２５０キロカロリー**

コールスローサラダ、キーマカレーorハヤシライス、白飯、福神漬orらっきょう漬、白身と豆腐のスープ、フルーツヨーグルト

卓　話

NPO法人 小島昭研究所
理事長
小 島　昭 様

**「夢は大きく
群馬の技術で
世界の水をきれいにしたい！」**

私は、群馬工業高専に48年間勤務し、昨年3月に退職致しました。その後、一緒に活動している企業さんと研究所を高崎市倉賀野につくって、現在理事長を務めております。

一週間前の桐生タイムス紙に『科学の面白さを伝え続けて』というタイトルで、私が日本化学連合主催の化学コミュニケーション賞2016の審査員特別賞を受賞した記事が掲載されました。これは、私の夢のひとつである〝化学の面白さを伝え続ける〟という事が評価されたものです。私は、研究と並行して情熱を傾けてきたのが、子供達を対象にした科学教室「サイエンスマジック」で、科学への興味関心・好奇心を育てる取組を10年以上行っております。群馬からノーベル賞をとる子供を誕生させる事が私の夢でもあります。

さて、本題の『水』についてです。地球は水の惑星ですが、飲める水は全体の0.03%しかありません。そして、蛇口をひねって飲める水は日本だけです。それで私は世界の水をきれいにしたいと思い、現在挑戦しています。その活動が今から約10年前のTBSの「夢の扉」という番組で紹介されました。

その番組の内容は次の通りです。「恩師は私に、絶対人のまねをするな。自分のオリジナリティを持ちなさい。ただじぃっとして日陰に居ろ。日陰にいればやがて太陽があたって来るよ。その言葉通り、当時全く注目されていなかった炭の研究に没頭しました。そんなある日偶然の出来事が。今から凡そ11年前、誤って炭素繊維を汚れた水の中に落としてしまったのです。それが切っ掛けでした。そうして日が当たり始め、これまでに41個の特許技術を開発。その一つが炭素繊維の水質浄化技術なのです。今では、日本全国(600ヶ所以上)から水をきれいにして欲しいと後を絶ちません。」という事です。

この炭素繊維を作ってくれ普及してくれたのが、桐生市相生町の織物業の柿沼洋一様です。(本年1月ご逝去)本当にお世話になりました。この事もNHKのニュースで取り上げられました。海外からも受注があり、中国蘇州での日中共同プロジェクトもテレビ番組で紹介されました。それには驚く程の成果があり、水質汚染を改善すると共に魚が増え始めたのです。しかし、炭素繊維はあくまで切っ掛けで、一人一人が水を大切にする心を育むことが一番大切だと私は考えております。他にもRI第2840地区とのプロジェクトでフィリピン・マニラの川をきれいにしました。

しかし、アオコが異常発生した中国太湖では炭素繊維による浄化はできませんでした。他にもいくつか理由があって、現在は桐生織の炭素繊維は使っておりません。そこで、今度は西陣織の炭素繊維の中に鉄板を入れて浄化する技術を開発しました。これでアオコは出てこなくなりました。この技術は『すーぱーぴーとる』という名称で商品化して販売し、牡蠣養殖の佐渡島や浜名湖でも成果を上げました。

その後、東日本大震災被災地支援として、養殖いかだで大きな被害を受けた岩手県山田町で、より大きく美味しい牡蠣の養殖に取り組み、大きな成果を上げ、NHKおはよう日本で紹介されました。これは今迄の淡水で行ってきた技術を応用したものです。袋の中に鉄のプレートと木炭等を入れて、それらが触れ合う影響で鉄イオンが解け出し、プランクトンの発生を促します。通常プランクトンは海の中には殆どありません。この鉄イオンを利用して牡蠣の餌となるプランクトンを増やし大きく育てる事を試みたのです。流れが激しい山田湾での実験は苦難の連続でした。試行錯誤の中、地元の漁師さんのアドバイスがヒントとなり、丈夫な麻を使った袋を用いる事により成功しました。これには3年以上の年月と40回以上の現地訪問を要しましたが、大きさも栄養も味も向上して成功しました。

次に、この技術を、津波の被害を受けた宮城県気仙沼の牡蠣の養殖に役立てようと、沼田ロータリークラブが資金面で協力して下さり、同様の成果を上げております。また、浜名湖や隠岐島でも行われています。

そして、海藻の繁茂や奥松島の藻林、北海道の昆布、高知のアオノリ、榛名湖での水草にも成果を上げています。鉄と炭を水に入れると電気が発生し、鉄イオンという成分が出ます。この鉄イオンが植物プランクトンの生成を早めます。水草を生やす事によって酸素が出て水を浄化してくれます。榛名湖はこの３年間で水草が復活し、ワカサギもどんどん増えています。

桐生が岡動物園のクモザル舎の池も、排泄物等で水質汚濁となり、浄化を依頼され7～8年悪戦苦闘しました。やっと昨年の11月16日に浄化設備を設置する事が出来、池の水の透明度が見違える様に上がりました。この事も群馬テレビのニュースで紹介されました。

この様に水質浄化システムがようやく確立出来ました。3月18日の上毛新聞にも、前橋南ロータリークラブさんとの活動として、さちの池の浄化活動が紹介されました。

世界で美味しい水道水が飲めるのは日本だけです。日本人は一日に450㍑の水をジャバジャバと使っています。ところが一生の内でお風呂に入れるのは生まれた時と死ぬ時の2回しかない人が世界で1/4位いる訳です。この様な現状を踏まえ、炭と鉄の力で、きれいな水を群馬から世界へ持って行きたいと思っています。日本はEEZで200海里あります。世界6位です。そこに群馬で作った鉄デバイスをたくさん設置して世界中の魚を集めて、世界へ輸出する！これが私の夢であります。目標は高く、生活は低く。夢の実現に向かって邁進しております。

どうぞ皆様、ご協力の程、宜しくお願い致します。

《次例会予告》

4月7日(金)　早朝健康診断結果発表　野田真一郎君
4月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い